



「レイ様!レイ様!レイ様、もう…

大好きすぎてどうしたらいいのかわからないよ〜!

レイ様、全部、全部欲しいよ〜!」

ハッ
ハッ
ハッ





「ダメですっ! そうしたらレイ様、逃げちゃうじゃないですかっ!」

「ツムギ、どうしたの? なんか様子が変わんだけど……。とりあえず、その縄を解いてくれない?」



「今日はレイ様をひとりじめしちゃいますよっ!」



「ちょ、ちょっと待ってツムギちゃん!そっちは…!?」



「ふふ、レイ様は意外と敏感ですね〜!」

「ツムギさん、やめて!や、あぁっ…んううっ!」



「レイ様は我慢しなくても大丈夫ですよ〜!」



「んっ、ダメえ! 声が出ちゃう! 声が出ちゃうよお!」

「レイ様!レイ様!レイ様、もう...
大好きすぎてどうしたらいいのかわからないよ~!
レイ様、全部、全部欲しいよ~!」



「んうっ、クリにねちゃらめっ、ヘンになっちゃう!」





「レイ様♥...レイ様♥...レイ様♥」



「ツムギちゃん...♥.....ひっ! ひん! あひっ!」



「レイ様はいっちゃいましたね〜!ふふっ、嬉しい!」

「ツムギちゃん…、はあ…はあ…」



「ちょっと!騎士さん、やめてください!今、邪魔しないで!」

「キミ、どうしたの?ちょ、ちょっと待って!あそこは…!?!」



「え?レイ様、なんだかすごく気持ち良さそうな顔してる…?」

ズム

「はっ!あっ!!はおおっ……!」



「ほんとに…早く動いてよ、もう！」

「あうっ……！ う、動かしてきたあ……っ」



「レイ様...♡の表情、ほんとに可愛すぎます〜!」

「ふう、んんっ……! んあ、あふう……!」



「レイ様、これでさっきより気持ちいいかな〜？」

110
110

くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ

「あひっ、あひっ!んくっ! んっ、んくっ、んくう! あうんっ!!」



「レイ様♥い、んあああああつ……!!」

「イク!イク!イク~~~~!!んああああああああ!!」



「これで満足したでしょ…?さあ、早くどっか行って、こっちに邪魔しないでよ!」

「これ…今まで感じたことのない幸せだ…。」



「レイ様♥……って、おい、どうした……まさか……。」

「ユウキ…ツムギちゃんもお願いしますね♥」





「ずらさず入れるなんて...この変態騎士!」

「安心して、すぐに気持ち良くなるから。」



「レイ様がそう言うなら…」

「早くツムギちゃんを気持ちよくさせてあげて。」



「んぐっ……つつ……うう、ああ……っ!!」

「はあ、あひいっ……あんうツ……はあ、あああっ……」



「レイ様!レイ様!レイ様!」

「ツムギちゃん...♡」



「レイ様!レイ様!レイ様!」

レイ様...

はっ!はっ!はっ!

はっ!はっ!はっ!

「ツムギちゃん...♡」





「レイ様♡イクッ!!♡ イックウウッ!!!♡♡」

「ツムギちゃん...イクッイクッいくうううううっ!!」





トク...♡

「レイ様♡.....」

「ツムギちゃん...♡」



レイ様♡……

レイ様♡……

はい

ツムギちゃん…♡